

単元名 武道(相撲)

配当時間 9時間

- 単元の目標 (1) 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手を崩し、投げたりいなしたりするなどの攻防をすることができる。
- (2) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) 相撲に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしたり、自己の責任を果たしたり、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしたり、健康・安全を確保したりしようとする。

標準的な展開例

12300122_001

【準備等】まわし、学習カード

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 1・2年生の学習を振り返り、学習の見通しをもつ。</p> <p>★基本動作の確認をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○礼儀・作法の確認をする。 ○まわしの付け方を確認する。 ○基本動作の確認をする。 <p>2～4 押し、寄り、前さばきの練習をする。</p> <p>★押し、寄り、前さばきを身に付けよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既習の技の確認をする。 ○押し、いなしの練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・押し ・いなし ○寄り、巻き返しの練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・寄り ・巻き返し <p>5～6 投げ技、ひねり技の練習をする。</p> <p>★投げ技、ひねり技を身に付けよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既習の技の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・出し投げ ○投げ技の練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・上手投げ ・下手投げ ○ひねり技の練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・突き落とし <p>7～8 グループで練習し、自分の得意技を身に付ける。</p> <p>★自分の得意技を見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既習の技の練習をする。 ○見取り稽古し、得意技の練習をする。 <p>9 グループで対抗試合をする。</p> <p>★得意技を積極的に活用しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ルールを確認する。 ○試合をする。 ○単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な行動の仕方を確認する。 ・まわしの付け方を学習カードを利用して確認する。 ・蹲踞姿勢、塵浄水、四股、伸脚、腰割り、調体、運び足、仕切りや立ち合い、受け身の確認をする。 ・押し、寄り、いなしの確認をさせる。 ・押しは、中腰の構えで、相手の両脇下に手の平を押し当て、肩下に額を当てて、小刻みに押して前に進ませる。 ・いなしでは、押しに対し体を開き、相手の攻めの方向にいなすようにさせる。 ・寄りでは、相手のまわしを取って、引きつけさせる。 ・巻き返しでは、寄りに対し相手の差し手を逆に下手に差し替えさせる。 【評】押し、寄り、前さばきの練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する ・二人一組の対人で、中腰の構えや運び足、受け身を用いて投げ技ができるようにする。 ・寄りから上手（下手）でまわしを取り、体を開いて投げるようにさせる。 ・脇に手を当てて、斜め下の方へ押すようにさせる。 【評】投げ技、ひねり技の練習を通して、「知識・技能」の評価をする。 ・二人一組の対人で、立ち合いからの流れの中で相手の動きの変化に応じて基本となる技を高めさせる。 ・自己の技能・体力に応じた得意技を身に付けさせる。 ・相手を崩し、投げたりひねったりすることを意識させて、話し合わせる。 ・グループで話し合い、良かった点などを教え合うようにさせる。 ・気付いた点を学習カードに記入させる。 【評】グループで練習し、自分の得意技を身に付ける活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・正規のルールに近い方法で試合をする。 ・グループ対抗とする。 ・仲間の試合を観察し、よいところを認め合ったり、助言し合ったりさせる。 【評】試合を通して、「知識・技能」を評価する。 【評】活動を振り返り、まとめをする活動を通

して、「思考・判断・表現」を評価する。
【評】単元全体の活動や試合で評価し合うを通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

相撲では、勝敗を競う楽しさや喜び味わい、技を高めることによって得意技を身に付け、相手の動きの変化に応じた攻防を展開できるようにする。また、伝統的な行動の仕方を大切にすることや、自己の責任を果たすことなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、見取り稽古の仕方などを学ぶようにさせる。

見取り稽古とは、武道特有の練習方法であり、他人の稽古を見て、相手との間合の取り方や相手の隙について勢いよく技をしかける機会、技のかけ方や武道特有の「気合」などを学ぶことである。